

田中歯科だより

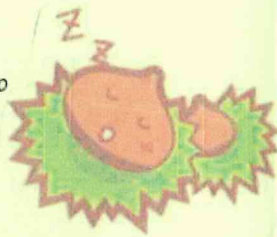
発行日:平成27年10月1日

No.72

ホームページ
<http://t-dentalclinic.net/>
山鹿市山鹿 1504-1
TEL:0968-43-2597

皆様こんにちは!

8月の台風15号の被害はすごかったですね。9月も茨城県では、大きな木害が起き本当に心が痛みました。自然災害はどうしても避けることができません。日頃から備えをしっかりとっておかなければいけませんね(。-)!!



トピック

「なぜ、歯ブラシだけではダメなの？」

よく、歯医者さんで「歯と歯の間が磨けてません。歯間ブラシを使って下さい。」や、「糸ようじ(フロス)を使いましょう!」など、歯ブラシ以外の清掃用具をすすめられると思いますが、どうして歯ブラシだけではダメなのでしょう?

歯周病の原因であるプラーク(歯垢)を除去し、予防するためには歯ブラシが大切です。しかし...ただ横に動かしたり、角度をつけて磨いても歯ブラシだけでは歯と歯の隣接面に歯垢が残り、歯ブラシだけの清掃では不十分です。

そうならないため、歯に隙間がある方は歯間ブラシを、隙間がない方は糸ようじ(フロス)を使用します。ムシ歯も歯周病も隣接面から進行していきます。なぜなら一番磨き残しが多いからです。

歯ブラシにプラスして、補助清掃用具を使用することでより歯磨きができ、予防率が高まります。

歯磨き = 歯ブラシだけでなく、自分の歯並びや環境にあつたケア用品を使って磨きましょう。歯磨きと同じ様に、習慣化すると、自分自身で予防率UPにつながります。



「安心・安全な治療を。」

最近、新聞でも取り上げられている、歯科医院での「院内感染」、患者様にとって不安でもあると思います。

歯を治療するにあたって、水は必要不可欠ですが、最近水は、細菌によって汚染されているという新聞記事を目にします。そこで、当院が行っている歯科の水に対する細菌対策についてお話しします。

まず、患者様の歯を治療する時に使う歯を削る器具は必ず高温で滅菌し使用しています。器具だけでなく、水が通る排管に診療後は消毒液の注入をしています。

過酸化水素が溶けた水などを使い、細菌の増殖を防ぎます。また、診療前に器具にたまっている水を数分間排出します。患者様に、安心して治療をしていただける様、当院ではこれからも院内感染対策もいかり行っています(。o)!



お知らせ

10月24日(土)は休診となります。

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。

10月はハロウィンがありますね。日本でこんなにもハロウィンが盛んになったのはいつからでしょうか? (^_^)

仮装してパーティーをされる方はいますか? される方は楽しんで下さいね!

